

木枯らし途絶えてさゆる空より…。  
古くから歌われるよう、明るい星の多い冬は、  
星座に親しむのに格好の季節です。  
さあ、冬の星空散歩に出かけましょ！

木枯らし途絶えてさゆる空より…。 古くから歌われるようすに、明るい星の多い冬は、星座に親しむのに格好の季節です。さあ、冬の星空散歩に出かけましょう！

## オリオン座は冬の代表選手

南の空に同じくらいの明るさの三つの星を、明るい星二つを含む四つの星が取り囲んでいます。これが、冬の星座の代表選手、オリオン座の目印。高く掲げたオリオンの右腕の付け根の星は、「ベテルギウス」。左足に輝く星は、「リゲル」。どちらも一等星です。



### オリオン座の星雲たち ~ M42 オリオン大星雲、馬頭星雲 ~

オリオンの腰から下げた剣の所に暗い星が三つ、連なっています。この真ん中の星は、「M42 オリオン大星雲」。オリオン座のもう一つの天体は、馬頭星雲。馬の首のように見える黒い部分は、暗黒星雲。それ自身は輝いていないので、このように後ろから来る光を遮ったときだけ見えています。



## オリオンと戦っている相手は? ~ アルデバラン ~

オリオン座から右上の方に目を移していくと、オレンジ色に輝く明るい星が見つかります。一等星の「アルデバラン」。おうし座の右目に輝く星です。血走った目の色が、いかにもどう猛な感じを与えていますが、実は、この牛は神々の王、ゼウスが、フェニキアの王女・エウロパをさらうために、真っ白な牛に姿を変えて近づいたのです。



## おうし座の星団、星雲たち ~ M45 プレアデス星団、M1 カニ星雲 ~

おうし座の肩のところにある星の集まりは、「散開星団 M45」。「プレアデス星団」とも呼ばれています。これは、みな同じ頃、同じ場所で生まれた兄弟のような星たち。



まだ生まれてから、5000万年程しかたっていないので、このように群れをなしています。また、おうし座には、星の一生の最期の姿も見ることが出来ます。角の先にあるのは「M1 カニ星雲」。太陽よりもずっと重い星は、一生の終わりをすさまじい爆発で飾ります。900年程前に爆発が観測されて以来、猛スピードで広がり続けています。



## おおいぬ座、こいぬ座 ~ シリウス、プロキオン ~

オリオン座から左下の方にあるひときわ明るい星が、一等星の「シリウス」。おおいぬ座の口元に輝く星です。おおいぬ座は、ねらった獲物は決して逃がさない獵犬ライラプスの姿だといわれています。おおいぬ座の左上にあるのは、こいぬ座の「プロキオン」。プロキオンもまたメランポスという名の獵犬で、鹿狩りの名人、アクタイオンのよきパートナーでした。しかし、アクタイオンが呪いを受けて鹿に姿を変えられたときに、そうとは知らずに自分の主人をかみ殺してしまったのです。帰らぬ主人を待ち続けるメランポスを氣の毒に思ったゼウスは、天に上げ、星座にしました。



## ふたご座とぎょしゃ座の散開星団

### ~ M35、M36、M37、M38 ~

ふたご座とぎょしゃ座、この二つの星座は、ともに美しい散開星団を持っています。ふたご座の足下にある M35、ぎょしゃ座の M36、M37、M38。どちらも双眼鏡で十分楽しめる天体です。

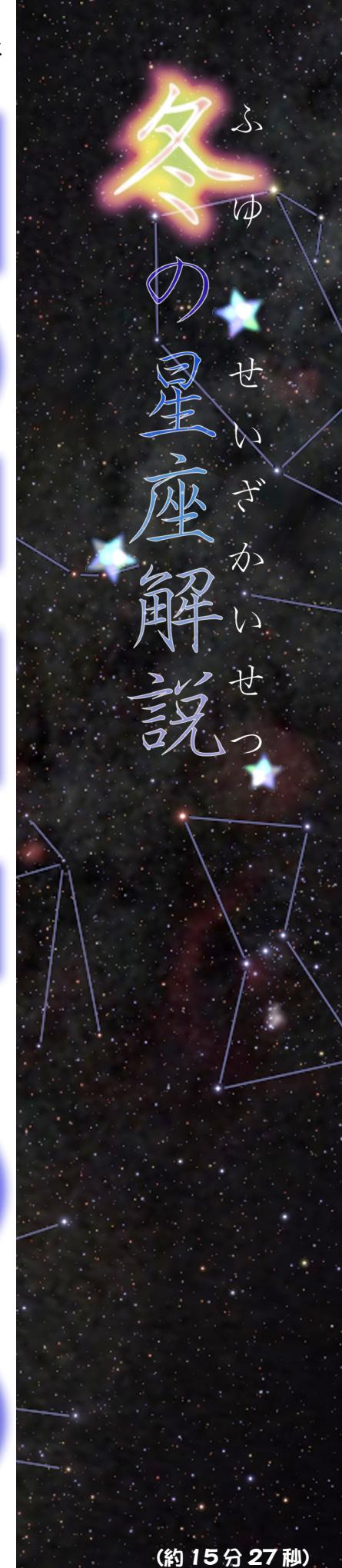


M35

M36,M37,M38

## 冬の夜空に咲いた大輪の赤い花 ~ いっかくじゅう座、バラ星雲 ~

オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン。この三つを結ぶとできる正三角形が「冬の大三角」。この三角形の真ん中に、暗い星ばかりが形づくるのは、「いっかくじゅう座」。夢の中に現れて、幸せをもたらすという伝説の動物ユニコーンの姿です。ここには「バラ星雲」が隠れています。まるで冬の夜空に咲いた大輪の赤い花のよう。中心付近で輝いているのは、この花びらのようなガスから生まれた若い星ぼし。そこで、バラ星雲は星のゆりかごと呼ばれることがあります。



天体写真: ESO/J. Emerson/VISTA. Acknowledgment: Cambridge Astronomical Survey Unit/ESO and Digitized Sky Survey 2. Acknowledgment: Davide De Martin/ESO/S. Brunier/NASA, ESA and AURA/Caltech/NASA, ESA, J. Hester and A. Loll / N.A.Sharp /NOAO/AURA/NSF/ 宮本 篤 語り: 鶴 ひろみ 脚本: 高畠規子 CG: NOBO 星座・神話イラスト: 塚田洋子